

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきざしましょう



戦後60年を迎えて

未来へとつなぐ 平和



久嶋市長に平和の折り鶴を手渡す保育園児たち

遠くなる戦争の記憶、私たちにできることは

今年、太平洋戦争(昭和16年(1941年)~20年(1945年))の終戦から数えて60年目にあたります。

長い歳月を経て、戦争の記憶が風化し薄れていくとともに、戦争を実際に経験していない人が人口の大半を占めるようになっていきます。この節目の年に、戦争について「知る」「学ぶ」ことを通して、改めて「平和の尊さ・素晴らしさ」について考えてみませんか。

戦時中のくらし ~体験者の証言~

戦時中、まだ向日町と呼ばれていたこの地域には、どのような生活があったのでしょうか。また、戦争の影響はどんなかたちで現れたのでしょうか。

戦争を実際に体験した人々の言葉を通して、当時をふり返ります。

戦時中の小学校生活

「防空頭巾を被り、モンペをはき、土手に豆やヒマを植えた。上靴もなく、体操の時間ははだし。六年間一生懸命勉強した記憶はない。」

昭和14~20年に向陽尋常小学校・国民学校(向陽小学校の前身)に通った井上欣子さん(故人)の回想、『向日市教育百年史』(昭和48年)から

西向日の桜は薪に、鶏冠井の道も芋畑に

「みんなおかゆをすすり、いものつるを食べた。(食料の増産は徹底していた。西向日の桜並木は薪となり、いもが植えられた。鶏冠井の広い道もいもが植えられた。)

昭和20年当時の助役、鎌田正太郎さん(故人)の回想。「京都新聞」連載の「おとくに語部」(昭和53年5月)から

大阪大空襲の煙が空を覆う

(昭和20年の大阪大空襲にふれ)「その煙が向日町まで流れ、一日中暗黒の日となった。米機は毎日のように阪神方面を爆撃したあと、向日町上空で和歌山方面にむきをかえた。」

大工業を営んでいた安井奎太郎さん(故人)の回想。「京都新聞」連載の「おとくに語部」(昭和53年4月)から

平和な未来へ ~子どもたちの学習から~



向陽小6年生の授業風景

向陽小学校6年生

東京大空襲のさ中、生まれたばかりの赤ん坊と母親の命が医師や看護婦たちによって守られた実話を題材に命の大切さを学びました。

寺戸中学校3年生

今年5月、修学旅行先の沖縄でひめゆりの塔や防空ごう跡を訪れました。

2学期にはこの体験をもとにした壁新聞が完成する予定です。



防空ごう跡でガイドの説明を聞く

知る、学ぶ ~文化資料館・図書館展示紹介~

文化資料館ラウンジ展示

「戦後60年 くらしのなかの戦争」

地域の資料から考える、「戦争」「平和」

毎夏、文化資料館では平和を考えるための催しとして、戦争に関する資料の展示を行っています。戦後60年を迎える今年、これまでの展示品の主なものをまとめてご紹介します。



●場所/文化資料館ラウンジ

●主な展示品/防空頭巾、国民服、軍服・軍靴、軍事郵便、児童向け絵本、小学校教科書など

●休館日/毎週月曜日、8月31日(水)

文化講演会 「昭和の戦争と庶民生活」

●日時/8月21日(日)午後2時~4時

●場所/文化資料館研修室

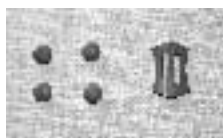
●講師/木坂順一郎さん(龍谷大学名誉教授)

開催中~9月11日(日)

午前10時~午後6時

(入館は午後5時30分まで)

【展示品紹介】



▲竹製のボタンとベルトのバックル

軍に供出するために、乙訓地域では竹製ボタンの製造が奨励された。

金属製品の代用品として使われた。



▲子ども向け雑誌(昭和17年発行)

雑誌の名前が「幼稚園」から「ツヨイコヨイコ」へと変わる。戦時色が濃くなった様子が見えてくる。



▲マッチ箱のラベル(鎌田貞三氏蒐集)

「活(いか)せ廃品」「節米で御奉公」などのスローガンが書かれている。

図書館 「戦争・平和関連本コーナー」

8月16日(火)~30日(火)

22日(月)、29日(月)は休館

図書館では戦後60年にちなみ、戦争・平和に関連する本などをまとめ、展示します。

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181

子ども向けおすすめ図書

●「猫は生きている」

早乙女勝元作、田島征三絵/理論社 (東京大空襲の中を必死に逃げる。子猫は生きていた。映画化もされた物語)

●「絵で読む 広島原爆」

那須正幹作、西村繁男絵/福音館書店 (原爆をいろいろな角度から見て描かれた絵本)

大人向けおすすめ図書

●「ホタル帰る~特攻隊員と母トメと娘礼子」

赤羽礼子・石井宏著/草思社 (「特攻の母」とうたわれた鳥浜トメと特攻兵士との感動の物語)

●「NHK戦争を知っていますか②」

NHKおはようジャーナル制作班編/日本放送出版協会 (戦争当時に生き抜いてきた女性たちが語る体験をまとめた本)

「竹の径・かぐやの夕べ」を10月22日に開催 運営に携わるボランティアスタッフを募集



▲昨年の「竹の径・かぐやの夕べ」の様子
写真は第8回向日市観光写真コンテスト推薦作品
「薄暮・竹明かり」小巻勝さん(京都市西京区)

市観光協会では、10月22日に開催を予定している「竹の径・かぐやの夕べ」で、竹筒を並べる作業などに携わっていただけるボランティアスタッフを募集します。

「竹の径・かぐやの夕べ」は、竹の径を水ろうそくで照らしだし、幻想的な雰囲気を楽しんでいただくというもので、今年で4回目を迎えます。

一緒にこの催しを素晴らしいものにしてみませんか。

事前打合せ 9月24日(土) 午前9時～正午
開催当日 10月22日(土) 午後1時～10時
(雨天の場合は翌23日(日) 同時刻)

- 対象/18歳以上の方20人程度
- 募集期間/8月31日(水)まで
- 応募方法/郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を書いて、直接お持ちいただくか、郵送、ファックス、電子メール(sangyo@city.muko.lg.jp)で市役所産業振興課にお送りください。1つの応募で3人まで応募できます。応募者多数の場合は抽選し、結果を通知します。

詳しくは、お電話していただくか、観光協会ホームページをご覧ください。

お問い合わせ・送付先

産業振興課内 向日市観光協会事務局(☎931-1111内線241)
〒617-8665 向日市役所 ☎922-6587
ホームページ <http://www.muko-kankou.jp>

「安心・安全のまちづくり」をあなたの感性で表現 「シンボルキャラクター」と「愛称」を募集

向日市生活安全推進協議会では、「安心・安全のまちづくり」にふさわしい「シンボルキャラクター」とその「愛称」を募集しています。

- 募集内容/「安心・安全のまちづくり」に関係するもの(市民の皆様が犯罪防止、交通安全、子どもの安全、防火、生活環境などに関心を持ち、まちが元気になるような「キャラクター」とその「愛称」)
- 対象/向日市在住・在勤・在学の方
- 応募方法/9月30日(金)(消印有効)までに、ハガキなどに住所、氏名、年齢、電話番号、作品(キャラクターとその愛称)、作品に対する思いを書いて、郵送または直接お持ちください。(1枚につき1作品)
- ※作品の形式、色彩、画材、技法などは自由です。
- ※直接お持ちいただく場合は、白紙など(ハガキ大)に書いて、環境政策課にご提出ください。
- 賞/最優秀賞1点、優秀賞1点
- 発表/10月下旬(入賞者に直接連絡します)
- 応募先/向日市生活安全推進協議会(〒617-8665向日市役所 環境政策課内)

お問い合わせ

向日市生活安全推進協議会
(環境政策課内・内線232)

絵画、工芸、書、写真など市民の作品を展示 向日市民文化展の作品募集

11月18日(金)から20日(日)まで中央公民館で開催する「第31回向日市民文化展」の作品を募集します。

- 申込受付/9月27日(火)から10月25日(火)の午前9時～午後5時(土曜日午後、月曜日を除く)に中央公民館へ。
- 対象/向日市在住・在勤の15歳以上の方
- 点数/1人2点以内(ただし、別部門に限る。工芸は2点でも可)
- 作品搬入/11月17日(木) 午前9時30分～11時
- 作品搬出/11月20日(日) 午後3時～4時

部門	作品の規格
絵画	60号以内。額装(日本画、油彩、水彩、パステル、切り絵、版画など)
工芸	平面作品は140cm×140cm以内(手芸含む)
書	90cm×190cm以内で額装かパネル張り(釈文は自由、軸物可)
写真	全紙以内で額装かパネル張り

※ガラス張額は不可、アクリルは可

お問い合わせ 中央公民館 ☎932-3166



まちの話題

中学校吹奏楽部合同演奏会で練習の成果を披露心の込もった演奏で観客を楽しませました



7月23日、市民会館ホールで市内中学校吹奏楽部による合同演奏会が開かれました。

この演奏会は、西ノ岡中学校、寺戸中学校、勝山中学校の吹奏楽部が日頃の練習の成果を披露する場として開催されているもので、今年14回目を迎えます。

家族や知人など会場に訪れた約400人の観客は、美しく、また迫力のある演奏を心から楽しみ、一曲ごとに大きな拍手を送りました。

杭州市外事弁公室職員が来庁 友好交流の大切さをPR



向日市と中国杭州市の友好交流協議書締結20周年を迎えるにあたり、杭州市外事弁公室処長・呉正山さんと職員の間が8月1日に向日市役所を訪問されました。

久嶋市長との会談の中で呉さんは、「杭州市は4月の反日運動の影響もなく、中国で一番治安の良いまち。相互理解のためには、人と人との交流が大切。西湖マラソンに、多くの向日市民のご参加を願っています」と交流の大切さを強調。

久嶋市長も「10月下旬の公式訪問や西湖マラソンへの参加を通じて、友好の絆をより深めたい」と答えました。

農業委員会の新しい会長などが決まりました 会長に五十榎正孝さん、職務代理に築坂晃さん



農業委員会の委員改選に伴って、会長などが代わりました。

会長に五十榎正孝さん(鶏冠井町)、職務代理に築坂晃さん(寺戸町)がそれぞれ選ばれました。任期は3年です。

農業委員会は、農家の相談や、農地の売買・貸借などの権利移動や転用に伴う農地法等の許認可業務を中心とした農地行政を担っています。

向日市杭州市友好交流協議書締結20周年記念

市民友好訪中団を募集

杭州・無錫・蘇州・上海 5泊6日

今年は向日市と杭州市が友好交流協議書を締結して20年の節目の年です。両市民の相互理解と友情の絆を深めるため、向日市日中友好協会では、訪中団を派遣します。

- 期間/10月27日(木)～11月1日(火)
- 参加費/173,000円
- 募集人員/30人(最少催行人員20人)
- 申込み/9月10日(土)までに向日市日中友好協会事務局長・中山芳澄☎921-2959までお申込みください。

2005国際友好西湖マラソン参加者募集



2004国際友好西湖マラソン向日市代表団

- 日程/11月4日(金)～8日(火)(マラソンは6日(日))
- 会場/中国杭州市西湖畔周辺
- 対象/18歳以上の市民10人(高校生を除く)
- 種目/男女別・性別2.5km～42.195km
- 参加費/8万円
- 申込み/8月19日(金)までに秘書広報課(内線251)へ。

申込用紙は、秘書広報課、生涯学習課、(財)体育協会事務局、各公民館、各コミセン、市民体育館、市民温水プールで用意しています。また、市ホームページからも取り出すことができます。

くらしの情報



市の催し・サービス情報

教室・文化・芸能などの催し、福祉・教育などのサービスなど、市からのお知らせを中心に掲載しています。

- 向日市役所への電話でのお問い合わせは、☎931-1111(代表番号)にお掛けください。担当課におつなぎします。
- 向日市役所への(ファックスは☎922-6587、郵便物は〒617-8665 向日市役所)、電子メールはinfo@city.muko.kyoto.jp)にお送りください。
- ※ファックス、郵便物、電子メールには、市役所のどこの課(担当課名)へのものかをお書きください。
- 参加費などの記載がないものは無料でご参加いただけます。
- ☎=お問い合わせ、HP=ホームページアドレス

催し情報

文化・芸能

敬老会



70歳以上の方を対象に開催します。お笑いと楽しいおしゃべりで、初秋のひとときを過ごしませんか。

ご来場の際に招待ハガキ(8月下旬に発送)

▲酒井くにおとおる

を持ってお越しください。

- 日時/9月2日(金)
- 第1回(午前9時30分～) 鶏冠井、上植野、向日、西向日
- 第2回(午後0時30分～) 森本、向日台、寺戸南部(瓜生、梅ノ木、岸ノ下、北垣内、久々相、古城、渋川、辰巳、殿長、天狗塚、中ノ段、中垣内、中野、西野辺、西ノ段、西野、西垣内、二枚田、初田、東ノ段、東野辺、東田中瀬、南垣内、山縄手)
- 第3回(午後3時15分～) 物集女、寺戸北部(石田、乾垣内、大牧、北前田、北野、蔵ノ町、小佃、三ノ坪、里垣内、笹屋、修理式、新田、芝山、正田、寺山、寺田、中村垣内、永田、西田中瀬、二ノ坪、八ノ坪、八反田、飛龍、七ノ坪、向畑)
- 場所/市民会館ホール
- マイクロバス/上植野公民館(午前8時45分発)、物集女公民館(午後2時30分発)
- 出演/歌謡ショー(華織)、浪曲(京山幸枝丸)、漫才(酒井くにおとおる)
- ※手話通訳、要約筆記を設置します。
- ☎地域福祉課地域づくり係(内線346)

講座・教室

地域健康塾

地域健康塾は、高齢者の方々が地域で集い、交流を持ちながら健康づくりを行う場です。上植野地区に加え、9月からは物集女公民館でも実施します。

- 日時/9月6日から毎週火曜日の午前9時30分～11時30分(祝日は除く)
- 場所/物集女公民館
- 対象/向日市在住のおおむね60歳以上の方
- 内容/健康チェック(血圧測定など)、軽体操、交流会など
- ☎障害者高齢者支援課(内線340)

中央公民館パソコン講習会

①いちからはじめるパソコン基礎



- 日時/10月19日(水)～21日(金)午後1時30分～4時30分
- 対象/初めてパソコンを操作される方25人(向日市在住・在勤)

●内容/パソコンの基本的な操作方法

②仕事で使えるExcel2000基本機能

- 日時/10月22日(土)～23日(日)午前10時～午後3時30分(途中1時間の休憩があります)
- 対象/文字入力ができる方25人(向日市在住・在勤)

●内容/表計算機能ほかExcelの基本機能

③仕事で使えるWord2000基本機能

- 日時/10月19日(水)～21日(金)午後6時30分～9時30分
- 対象/文字入力ができる方25人(向日市在住・在勤)

●内容/ビジネス文書の作成方法、見栄えよく作成するのに便利な機能

■いずれのコースも■

- 場所/中央公民館
- 参加費/無料(ただし、テキスト代は自己負担。コース①は1,100円、コース②③は1,050円)
- 申込み/9月10日(土)(消印有効)までに往復ハガキで中央公民館へ。1人1通1講座とします。電話での申込みはできません。応募者多数の場合は抽選。
- ※会場に駐車場はありません。

＝往復ハガキの記入例＝

↓往信用(表)		↓返信用(裏)	
<input type="checkbox"/>	617-0002	何も書かないでください	
往信	向日市中央公民館パソコン講習会係	<input type="checkbox"/>	返信
	寺戸町中ノ段17-1	お書きください	
		自宅の住所・氏名を	
		①希望講座名	
		②住所	
		③氏名(ふりがな)	
		④年齢	
		⑤電話番号	
		↑返信用(表)	↑往信用(裏)

☎中央公民館☎932-3166

要約筆記ボランティア養成講座

- 日程/9月7日(水)～平成18年3月1日(水)(全13回)
- 場所/福祉会館
- 対象/向日市に在住、在学の方で、要約筆記やボランティア活動に関心のある方20人
- 受講料/500円(資料代)
- 申込み/9月2日(金)までに、向日市社会福祉協議会 地域福祉係(☎932-1961(土日を除く)午前8時30分～午後5時まで)、☎933-4425、電子メールmukou-vc@ceres.ocn.ne.jp)へお申込みください。定員になり次第締切ります。
- ※ファックス、電子メールによる申込みの場合は、「申込受付完了通知」をこちらから送信した時点で申込み完了とします。

第1回子育て支援講座

- 日時/9月16日(金)午前10時～正午
- 場所/福祉会館
- 内容/講演・実技演習「子どもを守る心肺蘇生法」(乙訓消防組合向日消防署救急隊)
- 対象/向日市在住で、小学校就学前の子どもを育てておられる方および子育てに関心のある方50人

- 保育/あり(定員20人、1歳以上未就学児、要予約)
- 申込み/8月15日(月)から、向日市社会福祉協議会 地域福祉係(☎932-1961(土日を除く)午前8時30分～午後5時まで)へ。定員になり次第締切り。

水中運動をしたい方募集

虚弱な高齢者や身体に障害のある方、水中運動(水中歩行、水泳)と一緒にしてみませんか。ボランティアサークル「めだか」がお手伝いいたします。

- 日時/毎週月曜日(午後1時30分～)
- 場所/市民温水プール
- 申込み/「めだか」宮谷さん(☎・☎931-6502)もしくは、向日市社会福祉協議会ボランティア活動センター(☎932-1961)へ。

サービス情報

人材募集

ホームヘルパー募集

- 募集職種/ホームヘルパー(正職員)
- 応募資格/45歳まで、介護福祉士またはヘルパー資格1級の方
- 勤務日/週5日(日曜日から土曜日の内5日勤務)
- 勤務時間/午前8時30分～午後5時15分
- 試験日/9月12日(月)
- 申込み/市販の履歴書に写真を添付して、8月15日(月)～31日(水)に、向日市社会福祉協議会へ。
- ☎向日市社会福祉協議会☎932-1960

相談

社会保険(国民年金など)相談会

国民年金・厚生年金などの相談会です。手続き・保険料の支払いもできます。

- 日時/8月24日(水)午前10時～午後3時
- 場所/市民会館
- ☎京都西社会保険事務所☎315-1881

市民の情報掲示板



市民の皆様から寄せられた「会員募集」「催し」などの情報を掲載しています。掲載については、秘書広報課(内線240)にお尋ねください。

第13回向日市卓球選手権大会

- 日時/9月19日(祝)午前9時～(開会式)
- 場所/市民体育館
- 参加資格/向日市に在住・在学・在勤の方。また、向日市卓球協会登録者。
- 種目/ダブルス(男女別)、シングルス(男女別、A・B・C・D級)
- 参加費/○ダブルス(1組):一般1,200円、中高生800円、小学生400円 ○シングルス:一般700円、中高生500円、小学生400円
- 申込み/9月4日(日)までに、郵送(〒617-0002 寺戸町西野25-21 鈴木勝彦宛)または、☎933-7561にお申込みください。
- ☎鈴木さん☎933-7560

西ノ岡水彩画クラブ展

- 日時/8月19日(金)～21日(日)午前11時～午後6時30分(最終日は午後5時まで)
- 場所/キッチンタロー
- ☎吉原さん☎957-1791

消費生活

過去に受けた資格講座は終了しているはずなのに 資格商法2次被害(電話勧誘)

【経済産業省パンフレットから】



仕方なく新しい教材の契約をしたが...



- 過去の契約について、既に終了しているにもかかわらず、「まだ完全に終わっていない」などと言って、消費者の不安をあおり、新たな契約をさせる悪質な手口が横行しています。
●過去の契約について、既に終了している場合は、取り合わずきっぱりと断りましょう。
●「消費生活〇〇センター」など公的な機関と紛らわしい名称を使ったり、依頼されたと言う場合もありますが、公的な機関が勧誘を行うことはありません。

ご相談ください 消費生活相談

- 毎週水曜日午前10時～午後4時・市民相談室
●毎週月・金曜日午後1時～4時・市民相談室
●環境政策課市民安全係(内線249、235)
土・日の消費生活電話相談(京都府・京都市の共同事業)
●午前10時～午後4時 ☎257-9002(電話相談のみ)

悪質商法にご用心

統計

知って納得 国勢調査 その5

●どうしても答えなければいけないの?
統計調査を実施し、正しい統計を得るためには、正確に回答してもらうことが必要となります。
もし、回答が得られなかったり、不正確・不完全な回答だったりすると、調査の目的である統計が作成できなかったり、精度の低い統計となってしまうおそれがあります。
そうしたことを防ぐため、「統計法」や「国勢調査令」で回答の義務について規定しています。つまり、国勢調査に参加することは、私たちの義務の一つなのです。

●氏名も登録されるの?
調査票に氏名を記入するのは、調査対象としてだれが調査されたか、各調査事項がだれによって記入されたものであるかを確認し、調査漏れや重複調査を防ぐためです。また、万が一、記入内容に不備があったときに照合する手がかりとするものでもあります。

あくまでも正確な調査を実施する目的で氏名を記名していただくのであって、登録や集計の対象となることは、決してありません。

2005 国勢調査 平成17年10月1日(土)
あなたの調査票には日本の大切な未来が つまっています。
あなたの調査票は守られています
国勢調査員には、法律で調査票の記入内容についての秘密厳守が課せられています。調査票は、統計を作る目的だけに利用し、厳重に管理します。集計後の調査票は溶かします。
総務省統計局

お問い合わせ 情報統計課情報公開係(内線369)

新着図書のご案内

今月の一冊

きみのえほん

山岡ひかる作・絵 文渓堂
ほんやの すみっこで いっさつの えほんがねむっていました。だれにも きづいてもらえずにながいあいだ ひとりぼっちで。

一般図書

- 知ってるようで知らないものの呼びかた ことば探偵団 ことば探偵団著 幻冬舎
●アウシュヴィッツ博物館案内 中谷剛著 凱風社
●だれが未来を奪うの 少子化と闘う 野田聖子著 講談社
●お母さんはしつけをしないで 長谷川博一著 草思社
●僕のこころを病名で呼ばないで 思春期外来から見えるもの 青木省三著 岩波書店
●月森紀子のナチュラルスイーツ 月森紀子著 講談社
●ルポ諫早の叫び よみがえれ干潟ともやいの心 永尾俊彦著 岩波書店
●桂東雑記Ⅲ 白川静著 平凡社
●死神の精度 伊坂幸太郎著 文藝春秋
●地図のない旅 澤地久枝著 主婦の友社
●そして、遺されたもの 哀悼 尼崎脱線事故 「週刊文春」特別取材班 文藝春秋
●人生のちょっとした煩い グレイス・ペイリー著 村上春樹訳 文藝春秋

児童図書

- 10代のうちに考えておくこと 香山リカ著 岩波書店
●マンモスが地球を歩いていたとき キャロライン・アーノルド文 ローリー・ケイブル絵 新樹社
●金魚島にロックは流れる1 かしわ哲著 講談社
●ぎぶそん 伊藤たかみ著 ポプラ社
●闇の城、風の魔法 メアリアン・カーリー作 徳間書店
●カラザン・クエスト1 謎の蛇 V・M・ジョーンズ作 講談社
●つぶとぎつねのはしりっこ いしだとしこ文 みやじまともみ絵 アスラン書房
●むしたちのおまつり 得田之久文 久住卓也絵 童心社
●義経と弁慶 日本の物語絵本11 谷真介文 赤坂三好絵 ポプラ社
●ひよこをさがしてあひるのダック フランセス・バリー作 主婦の友社
●どうぶつことば ケロケロ バジャバジャ ブルンブルン スティーブ・ジェンキンス作 評論社

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181

歴史 むこうしの城と国衆

その5 鶏冠井氏の足跡をたずねて

中世の鶏冠井を率いたのは、地名を名字とする鶏冠井氏でした。鶏冠井氏は、西岡の国衆のなかで、もっとも古い時代から姿をあらわしはじめます。

平安時代の末期、12世紀後半の鶏冠井には、公家である徳大寺家の領地がありました。「鶏冠井殿(かいでどの)」と呼ばれ、奉仕する寄人(よりうど)もいることから、山荘があったようです。まわりの耕作地をあわせて、荘園が形づくられていきました。

やがて鎌倉時代に入ると、鶏冠井荘内の三町歩の田地が西山往生院(のちの三鉢寺)に寄進されます。この頃になると、百姓らの活動が活発になり、生産物を少しでも手元に残すため、領主に抵抗

する動きがめばえます。鎌倉時代末の14世紀初め頃には、年貢徴収を役目とする沙汰人(さたにん)の「雅継(まさつぐ)」が、百姓らと一緒に納入に抵抗しています。この沙汰人雅継こそ、名前から考えて、後の鶏冠井氏の先祖ではないか、といわれています。

室町時代中頃の応永29年(1422)には、七郷共同の鎮守として造営された向日神社本殿の棟札に、鶏冠井からはただ一人、「藤原上総守雅重」が署名しています。この前後から鶏冠井姓の人物が、山城国の守護(しゅご)の配下として、また幕府中枢の大名の家来として、しばしば名前をあらわします。

応仁の乱が終わってしばらくたった長享元年(1487)には、向日神社で西岡の村々が集まる会議が開かれています。鶏冠井からは鶏冠井雅盛

が参加し、会議の中心メンバーの一人となっています。同じ頃、彼は地元の鶏冠井だけではなく、桂川沿いの築山や久我のあたりまで勢力を伸ばし、その荘園の代官を務めるようにもなりました。

ほかの村の場合は、同時期に複数の有力者がいることも多いですが、鶏冠井は鶏冠井氏のもとに結束していたようです。平安時代からの徳大寺家荘園としての伝統や、鎌倉末期に一村こぞって改宗した日蓮宗の信仰が、その背景にあるとも考えられます。

このように足跡をたどってくと、鶏冠井をまとめるリーダーとしての鶏冠井氏の姿が浮かび上がってきます。その館跡は、集落から離れた近世興隆寺跡よりも、まさに集落そのものである御屋敷遺跡の中にあつたほうが、ふさわしいのかもしれませんが。



御屋敷遺跡付近(旧小字塚廻)のようす 2005年8月撮影